

成長するベトナム映画市場

生活水準の上昇に伴い、ベトナムの人々はかつて贅沢だと考えられていた娯楽産業により多くのお金を費やすようになってきている。その中でも、映画は自由時間を過ごす人気の選択肢になってきている。ベトナムの映画産業は急速に発展し、今後もさらに発展することが見込まれている。2015年には3,960万枚のチケットが購入され、興行収入は1億400万ドルであった。2020年の興行収入は2億ドルに達すると予測されている。

韓国系企業が映画市場で優勢

このような発展途上、かつ大きな潜在市場を持つベトナムの映画産業は、外資企業（特に韓国）からの注目を集め、参入している企業も多い。実際に、2017年末の時点で、CGV（CJ Corporation）とLotte Cinema（Lotte Group）という韓国系企業が、ベトナム映画市場の77%のシェアを持ち、業界をリードしている。

ベトナムの主な映画館（2017年12月のデータに基づく）

No.	名称	所在地	映画館数	スクリーン数	座席数
1	CGV	韓国	53	329	45,600
2	Lotte Cinema	韓国	33	150	22,846
3	Galaxy Cinema	ベトナム	13	72	9,300
4	BHD	ベトナム	7	45	5,510
5	Platinum	インドネシア	5	72	9,300

資料：各映画館のサイト

外資企業に市場の主導権を握られている一方で、Galaxy Cinema（Galaxy Studio JSC.）やBHD（BHD Media JSC.）といったベトナム企業も業務拡大を視野に入れており、例えば、後者は2020年までに映画館の数を20程度に拡大することを狙っている。さらに、こういった既存の大手に加えて、2017年7月に香港のBlue HK Investmentsから2,750万ドルの投資を受けたBeta Cineplex（Vietnamese Beta Media JSC.）のような新規事業参入者も存在している。

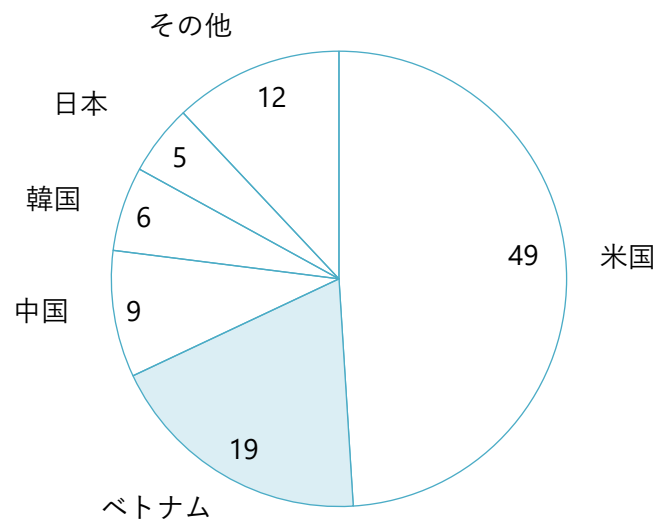
上映される映画の多くは海外映画

上映される映画そのものについては、海外で製作された映画が大きな部分を占めており、特に米国の映画が多い。2017年に上映されたベトナム製の映画は35しかなかったのに対し、米国映画は91にも上った。日本の映画も数こそ少ないが存在感を示している。アニメや漫画はベトナムの若者の間でかなりの人気を博しており、「ワンピース」、「ナルト」、「ドラえもん」といった漫画の映画版は、ベトナムのファンはもちろん、一般大衆にも人気であった。また、「君の名は（2016年）」は、公開から3日で観



客動員数 37,000 人に達し、日本の映画としては大きく成功した。

2017年にベトナムで上映された映画の製作国（100%=188人）



資料：JETRO

興行収入については、製作国に関わらずベトナム映画も海外の映画も増加傾向にある。CGV は映画の配給会社としても成功しており、興行収入の多い映画を多数配給している。

ベトナムの興行収入上位の映画（2017年：百万ドル）

No.	ベトナム映画	配給会社	興行収入（百万ドル）
1	Em chua 18	CGV	7.6
2	Co gai den tu hom qua	CGV	3.0
3	Co ba Sai Gon	BHD	2.5
4	Nang 2	Galaxy Cinema	1.8
5	Me chong	CGV	1.7
No.	海外映画	配給会社	興行収入（百万ドル）
1	Kong: Skull island	CGV	7.5
2	Fast & Furious 8	CGV	7.0
3	Annabelle: Creation	Galaxy Cinema	4.0
4	Boss Baby	Galaxy Cinema	3.8
5	XXX: Return of Xander Cage	CGV	3.7

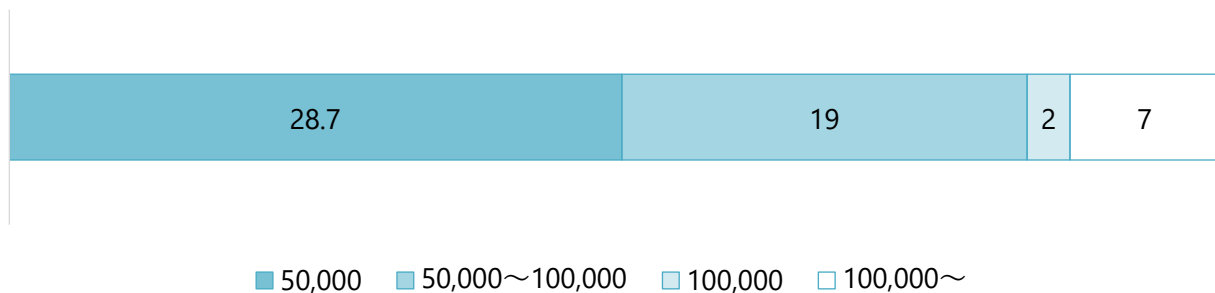
資料：Vietnamnet.vn

ベトナムの消費者の動向



Vinaresearch (W&S JSC) がハノイとホーチミンで 800 人に対して行った調査によると、人気の映画のジャンルはアクションとコメディで、それぞれ 76%と 70.9%の回答者が「好き」と回答し、それにアドベンチャー (54%)、SF (49.9%) と続く。また、多くの消費者は友達と映画館に行くため、映画を選ぶ際の基準としては「友達の意見」を参考にするという意見が「インターネットによる情報」に次いで 2 番目に多かった。映画を選ぶ際の他の基準としては「映画館の設備」、「割引などのプロモーションの充実度」、「その映画の世間からの注目度」などが挙げられた。チケット価格は現状 50,000~150,000 ドンであるが、72%の回答者が 50,000 ドン (250 円弱) 程度であってほしいと回答した。

望ましいチケット価格 (100%=800 人：ドン)



資料：Vinaresearch

ベトナム映画産業の成長にベトナム政府も反応している。2013年11月の首相決定 2156/QD-TTg に基づく「ベトナム映画産業の2020年までの成長戦略」によると、2020年までに1,050の映画館、年2億1,000万人の観客動員数、映画総数に占めるベトナム映画の割合45%、といった数値目標が掲げられている。ベトナムの映画産業は大きな潜在市場を持ち、新たな投資の機会を生んでいる。特に、近代的な住宅地域（ハノイの Smart Town やホーチミンの Thu Thiem New Residential Area など）の住民は顧客として取り込める可能性も大きいだろう。今後益々の発展が予想されるベトナム映画市場に注目したい。

参照：

1. <http://betacorp.vn/vi/news/test-news/>